

# 関中学校だより



関中学校HPにアクセス

✿ 第21号 ✿  
令和6年11月12日発行  
亀山市立関中学校  
文責：堀内

## 授業参観・教育懇談会を実施しました

10月30日(水)授業参観・教育懇談会を行いました。授業参観では、教科の学習、2年生では人権学習を見ていただきました。人権学習では全国水平社設立の中心人物、西光万吉が差別解消にむけて闘う姿について学びました。今後は、自分たちが差別をなくすためにどのように行動するかについて考えていきます。

教育懇談会では、助産師の林みち子さんをお招きし、「ホンネで話そう、生と性～幸せな大人になろう～」というテーマでお話していただきました。テンポのよさとユーモアで話に引き込まれました。3年生の生徒たちの心にもしっかりと響いたようです。生徒の感想を紹介します。



講演会の様子



分散会の様子

- ・一つ一つの話に重みがあった。みんな違ってみんないいと思えた。「生きているだけで100点満点」という言葉に胸を打たれて感動で泣いてしまいました。
- ・人と比べて落ち込むことが多いので、人と比べる必要はないし、生きているだけでえらいと言ってもらえたので気持ちが楽になりました。自分のことが好きと自信を持って言えるようになりたいと思いました。
- ・自分の物差しで人を判断したり馬鹿にしたり笑ったりすることが、いかに恥ずかしいことだったかに気付かせてもらった。今日の話をお忘れずに生きていきたい。
- ・思春期でお母さんとけんかしてしまうことが多いけど、それも愛情なんだと思いました。また、「明日があることは奇跡」ということをしっかりと理解して「ありがとう」「いってきます」としっかりと家族に伝えていきたいと思いました。

## 11月はいじめ防止月間です

ピンクシャツ運動のきっかけとなったのは、2007年のカナダ・ノバスコシア州での出来事でした。登校日に、ピンク色のポロシャツを着てきたことでいじめにあった男子生徒、その話を耳にした上級生ふたりのアイデアと行動がきっかけとなり、いじめがなくなったという出来事がありました。その行動に対して多くの賛同者があられ、学校や職場でピンクシャツを着たり、ピンク色のものを身につけていじめ反対の意思表示をするようになりました。本校でも、いじめを防止する活動をせいかつこうつういんかいを中心に行っています。いじめの防止・根絶を呼びかける標語を全校生徒一人ひとりが考えて、いじめ防止に取り組んでいきます。

## PTA バザーありがとうございました

11月3日(日) PTA バザーを開催しました。バザーに向けて物品のご寄付、バザーの準備、販売、片付けまで、大変お世話になりました。生徒たちの製作した商品も完売し、うれしく思いました。このバザーに当たって、地域の北澤建具店様より木材や商品を提供していただきました。PTAバザーの取り組みを通して、学校は地域や保護者の協力のもとに成り立っていることを改めて実感いたしました。バザーで得た収益は、学校の教育活動に使用させていただきます。本当にありがとうございました。また、街道祭りでバザーや中庭コンサートの広報をしてくれた生徒会の皆さん、毛槍奴として行列に参加したり、祭りに来てくれたりした生徒の皆さん、地域の祭りを盛り上げてくれたことに感謝します。本当にありがとうございました。



## キャリア教育講演会で夢について考えました

11月8日(金)、生徒たちが自分の将来の夢について考えるきっかけづくりを目的として、キャリア教育講演会を開催しました。プロマジシャンDiamond TakuさんとEriさんをお招きして、マジックの披露と講演をしていただきました。コロナ禍でマジックを学ぶために予定していたラスベガスへの留学に行けなくなり先が見えずに不安の中、1年間全力でマジックに打ち込んでみると決めて努力したこと、などの経験を語ってくれました。そして、周りが何と言おうとも自分の進路は自分で決め、やりたいことをあきらめないで挑戦してほしいというメッセージをくださいました。講演会を通して私は、前向きに自分の夢を切り拓いていく生き方が力強く、とてもかっこよく感じました。



## ルールやマナーを守って遊んでいますか？

地域から生徒たちの遊び方についてご意見をいただきました。外で遊ぶことはとっても良いことですが、自分たちの遊びや楽しさが優先されて、よその畑や花壇に入ったり、危険なところの上ったり、車の往来などを意識せずに遊んでいる様子が見られるようです。他の人が嫌な思いをしたりする行動や危険行為はよくありません。一度、自分たちの遊び方はマナーやルールが守られているか、考えてほしいと思います。